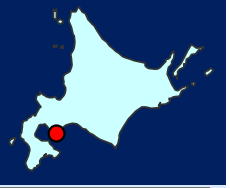
第3種 追直漁港
（北海道室蘭市）

追直（おいなおし）地区特定漁港漁場整備事業計画

室蘭圏域
流通拠点



室蘭地域マリンビジョン策定（モデル地域）

現状と課題

・沖合底びき網漁業等は、野天での陸揚げ、荷さばき、出荷作業であり、鳥糞などの異物混入や直射日光などによる品質低下が課題となっている。
・荒天時には、防波堤からの越波や港口からの進入波により港内が擾乱し、漁船の船体動揺や損傷などの被害が発生している。
・大規模災害発生後において、漁業活動が長期間休止となった場合、水産物の安定供給だけではなく、地域経済に大きな影響を与えることが懸念されている。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：23隻
利用漁船：39隻
（内、外来漁船：16隻）
属地陸揚量：10，283トン
属地陸揚金額：15．9億円
主な魚種：スケトウダラ、マダラ
組合員数：15人

◎追直漁港の役割

・沖合底びき網漁業、サケ定置網等の沿岸漁業、道内外のイカ釣り漁業等の流通拠点
・ホタテガイ養殖等のつくり育てる漁業の支援基地

主　要　対　策

主な整備方針

・沖合底びき網漁業などの衛生管理対策を推進するため、屋根付き岸壁の整備を行うとともに、衛生管理に対応した陸揚げエリアに隣接する駐車場の整備及び用地の防塵処理を行う。
・防波堤からの越波や港口からの進入波を低減し、港内静穏度の向上により、安全に係留できる岸壁を確保するため、防波堤、突堤等の整備を行う。
・大規模災害発生後の水産業の早期再開を図るため、耐震・耐津波性能を強化した岸壁や岸壁に接続する道路の液状化対策を行う。

基本事項

全体事業費：99．0億円
事業期間：H30～R9

主要な対策①：衛生管理対策

異物混入・
品質低下の懸念

主要な対策②：静穏度対策